事務事業調書(通常評	価事業 事後	(評価)								
事務事業名	空家等	対策事業				事業開	開始年度 一台	和元年度			
担当課	建設部	阝 都市整備設	ŧ		担当者	小	林 悠人				
■事業の執行計					•	<u> </u>					
	政策	05	機能的で住み								
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好		形成						
	基本事		計画的な土地								
事業の目的	空家等	対策を総合的	に実施し、市民等	の生命や	は産に対する	波害を防止する	ることにより.	、安			
予未の口口	心安全	心安全な生活環境を確保するとともに、空家等の利活用による活性化を目的とする。									
事業の概要		対策審議会の	実施や特定空家に	対する解析	本費用の補助、	空家等情報/	ヾンクの利用イ	足			
	進。										
■事業実施結果	【実施										
		年度	5年度			F度		年度			
事業費の推移		漬/当初予算	実績			:績		当初 2,743			
		総事業費	200		7, 6	551	2,	743			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	指	漂名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	10.1	ホロ小	+12	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果		び空家バンク利用促	件	1	2	5	5			
1日1次~21年1万	/ * /*	進補助		11	•	_	0	ŭ			
			(n= 1		h						
	評価				<u>成した</u> ● 達						
達成度の			青報バンク利用促								
評価と説明	説明		とき家パンフレッ	トを作成し	.、全戸配布し	<i>,</i> た。今後も継	続して事業 <i>0</i>	DPRを図りた			
	.1	い。		- A 1.1 + 1 -			S Lil I I				
見直し余地	判定		に見直し可能)余地はあ	<u>るがまた時間</u>	<u> 『が必要 〇新</u>	<u>k地なし</u>				
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了											
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、●現状 ○縮小		業務量		現状 ○縮小	\			

	通常評	呼価事業 事後	評価)								
事務事業名	地籍訓	周査事業				事業開	開始年度 昭	和49年度			
担当課	産業総	圣済部 農政語	Ę.		担当者	鈴:	木 教史				
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】				·					
	政策	05	機能的で住み	みやすい安	全な都市機能						
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好	子な市域の	形成						
	基本導	基本事業 01 計画的な土地利用									
古米の口め	土地トラブル防止、公正課税、成果の数値情報化による電算管理がされ利便性が向上する。										
事業の目的	又、公共事業等の正確な計画策定、災害時等の土地境界の復元等が可能となる。										
古米の畑市	負担金	☆交付申請→県	・市における実施	地区公示-	→地元説明会-	→境界立会→−	-筆地測量→閱	閲覧			
事業の概要	→地籍	晉図、地籍簿作	成→国への認証請	「求→認証	斉地区の地籍図	図、地籍簿の法	Ł務局送付				
■事業実施結果	【実施	ī (Do)]									
		年度	5年度		6年	度	73	年度			
事業費の推移	実	績/当初予算	実績		実	績	븰	á 初			
		総事業費	11, 011		25, (031	25,	585			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	+64	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	1日1	宗	中世	実績	実績	計画	計画			
上 指標の推移	成果	地籍調査完了面	挂	Km²	65. 01	65. 09	65, 25	65. 42			
田信の推修	八木	地相初且尤「山	TĘ.	KIII	03. 01	03. 09	00. ZJ	03. 42			
	成果	数值情報化完了		Km²	57. 97	57. 97	57. 97	57. 97			
	,,,,,,,				• , . • ,		37. 97	37. 37			
	評估)多少は達		成できず					
達成度の		国土調査法	まに基づき向河原	Ⅱ地区と氏	家Ⅵ地区の調	査を実施し、	向河原Ⅱ地区	の後半工程及			
評価と説明	説明	月 び氏家Ⅵ⅓	也区の前半工程を	完了した。							
見直し余地	判员	E 〇数年内	こ見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>]が必要 ●糸	<u>≷地なし</u>				
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性	〇見画		!状どおり継続	〇廃止・							
資源方向性	予:	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大	現状 〇縮小	\			

事務事業調書(評価)								
事務事業名	立地通	直正化計画策 定	事業			事業開	開始年度 一令	和 4年度			
担当課	建設部	阝 都市整備護	Ę.		担当者	加加	藤 寛之				
■事業の執行計	画【計					<u> </u>					
	政策	05	機能的で住み								
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好		形成						
	基本事		計画的な土地								
事業の目的		送来の拡大型の都市構造から集約型の都市構造への転換を図り、都市機能や居住が集約した。 は、1000年におります。 1000年におりまます。 1000年におります。 1000年におりまする。 1000年におりまする。 1000年におりまする。 1									
ず木の口口		コンパクトシティの形成を図る。									
事業の概要			居住誘導区域を定	≧め、都市村	幾能や居住を記	秀導し、コン/	ペクトな都市	構造			
	を形成										
■事業実施結果	【実施										
		年度	5年度			F度		年度			
事業費の推移	実績/当初予算 実績					:績	当初				
- 1/ / 1/4		総事業費	7, 700		4, 3	323		0			
■前年度の事業分析【評価(Check)】											
	指標	指	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度			
	区分	JH	ж п гт	7,4	実績	実績	計画	計画			
指標の推移	成果		用が行われていると	%	59. 4	55. 7	62	62			
10 100 10 10	77471	感じる市民の割	合	, •		00. 7	02	V 2			
	===: /=		ᇑᇈᆂᆂᆠᆂ	ンタルルキ		<u> </u>					
` + + + + + +	評価			<u>) 多少は達</u>		は成できず	<u> </u>				
達成度の	= 24 11		きから立地適正化	計画の策定	に看手し、気	和6年度に策	定を完了した	- 0			
評価と説明	説明	Ħ									
日本1人地	생산	0 % / T d J	- B + L = + + - C	10 H/L +	フ ユミーナ ユミロナ 日	915公市 ●2	\1\h +> 1				
見直し余地	判定		こ見直し可能 (ノ东地はめ	<u>るがまだ時間</u>	可か必要 ●第	*地なし				
■将来方向性【改善(Action)】											
事業の方向性 ○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了 資源方向性 予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ○拡大 ●現状 ○縮小											
資源方向性	アリ	早祝 し払入	:●現状 ○縮小		業務量		●現状 〇縮小	`			

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	駅広場	改修事業				事業開	始年度 平	·成23年度	
担当課	建設部	3 都市整備設	Ę.		担当者	小	林 悠人		
■事業の執行計					•	<u> </u>			
	政策	05	機能的で住み						
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好	rな市域の	形成				
	基本事	業 02	氏家駅東口周	辺の利便	性向上				
事業の目的	JR氏家	駅東口・西口	広場の賑わいと潤	いある安々	心安全な空間の	の形成			
事業の概要	る。	通広場、駅東	交流広場、駅西交	:通広場の(修繕・改修工될	事、維持管理第	美務委託を実)	施す	
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	=度	7	年度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実績		2	当初	
	i	総事業費	1, 132		1, 0	149	1,	091	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	担	宗石 你	中世	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	修繕・改修・管	理した施設数	件	3	3	3	3	
	評価	」●達成、	既ね達成した()多少は達	成した 〇道	成できず	•	•	
達成度の			見に配慮した維持				適な活気ある	いれる駅前広場	
評価と説明	説明		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					, 1 = 0 -3, 1, 1, 1,	
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●分	戻地なし		
■将来方向性【	改善(Action)]							
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算	算額 ○拡大			業務量	○拡大	●現状 〇縮小	\	

			評価)							
事務事業名	氏家駅	東地区魅力向]上事業			事業開	始年度	令和 2年度		
担当課	建設部	3 都市整備誤	R .		担当者	富	田渉			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>				
	政策	05	機能的で住み	ょやすい安	全な都市機能					
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好							
	基本事	業 02	氏家駅東口周	辺の利便	性向上					
+ W 0 5 4 4	氏家駅	た家駅東地区は都市の発展を牽引する重要な地区として位置づけられており、JR氏家駅や								
事業の目的	駅前商業地としての特性を活かした賑わいや魅力を促進する事業を検討する。									
			や課題を踏まえ、					って鯡		
事業の概要			まちづくりに寄与			0,200	12 di-C			
■事業実施結果	【実施		<u> </u>	, , ,						
		年度	5年度		6年			7年度		
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績		当初		
	i	総事業費	5, 575		2, 7			2, 570		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	+15-1	亜 夕 	** /-	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	拍打	票名称	単位	実績	実績	計画	計画		
比価の状物		氏家駅東口周辺	の利便・安全・賑わ	%	20 1	29. 2	29	29		
指標の推移	成果	いに満足してい	る市民の割合	%0	32. 1	29. Z	29	29		
	評価	〇達成、	既ね達成した	多少は達	成した 〇達	成できず	•			
達成度の		氏家駅東均	也区魅力向上まち	づくり基本	計画(街なか	交流軸形成エ	リア) 」の	策定に向けて、		
評価と説明	説明		関係機関との勉強							
#1 III = #10 00	Distribution of the property o									
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●弁	戻地なし			
■将来方向性【	改善(Action)								
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了										
資源方向性	予算額 ○拡大 ●現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小									

	通常評	価事業 事後	評価)					
事務事業名	区画整	理事務				事業開	始年度 平	成26年度
担当課	建設部	3 都市整備部	R .		担当者	富	田渉	
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】						
	政策 施策	05	機能的で住み	みやすい安	全な都市機能	3		
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好	Fな市域の	形成			
	基本事	業 03	定住・転入の)促進				
事業の目的	保留地	販売の促進。						
事業の概要	販売紹		るPR。 給や販売促進交付	金の交付。	,			
■事業実施結果	【実施	(Do)						
		年度	5年度		6年	F度	7年	F度
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	!績	当初	
		総事業費	354		2	01		0
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
	指標	培护	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分	111	未 11117	平位	実績	実績	計画	計画
指標の推移	成果	当該年度に販売	した保留地の区画数	区画数	0	0		
	評価	」●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇道	成できず		•
達成度の		令和6年	を換地処分を行う	にあたり、	権利関係の移	転が生じると	事務手続きが	複雑になるこ
評価と説明	説明	▮ とから、死	銭保留地2区画につ	いては一	般販売はせずり	こ事業完了とし	した。	
		※ 財政語	果へ普通財産とし	引渡を行な	こった。			
見直し余地	判定		こ見直し可能 ()余地はあ	るがまだ時間	引が必要 ●糸	≷地なし	
■将来方向性【	改善(Action)]						
事業の方向性			見状どおり継続	●廃止・				
資源方向性	予算	算額 ○拡大	:○現状 ●縮小		業務量)現状 ●縮小	

			(評価)							
事務事業名	上阿久	(津台地土地)	医画整理事業			事業開	始年度 平	成17年度		
担当課	建設部	阝 都市整備調	*		担当者	富	田渉			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】				<u> </u>				
	政策	05	機能的で住み	りやすい安	全な都市機能	;				
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好	子な市域の	形成					
	基本事	第業 03	定住・転入の	D促進						
古世の口め	機能的	能的で魅力ある都市空間の創出。								
事業の目的	安全・	安全・安心で快適に暮らせる居住環境の形成。								
事業の概要			工事および業務委		こ各種補償を行	うう 。				
•										
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度			度		丰度		
事業費の推移	費の推移 実績/当初予算		実績		実	実績当初				
		総事業費	129, 048		48,	596		53		
■前年度の事業分析【評価(Check)】										
	指標	±⊑:	標名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	18,	未 口 1小	辛匹	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	全体整備率		%	100	100				
1日1示 リカー 1日1夕	石刧	工作证佣牛		70	100	100				
				<u> </u>						
	評価				成した 〇遺					
達成度の			は事業がすべて完							
評価と説明	説明	引 引き続き	☑画整理登記、清	算金徴収·	交付事務を行	う。				
見直し余地	<u>判定</u>		に見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	<u>るがまだ時間</u>	<u> が必要 ○第</u>	<u>≷地なし</u>			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性		T し継続 O り	現状どおり継続	●廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	、○現状 ●縮小		業務量)現状 ●縮小	\		

事務事業調書(:評価)						
事務事業名	移住推	É進事業				3 7 7 7 7 7		成27年度	
担当課	総合政	文策部 総合政	(策課		担当者	岩岩	崎 向志		
■事業の執行計									
	政策	05			全な都市機能				
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好		形成				
	基本事		定住・転入の						
事業の目的	本市へ	の移住定住を	推進し、人口増加	口を目指す。	•				
事業の概要			に関するPR活動 を受付け、該当者			色する。			
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実績	漬/当初予算	実績		実	績	当初		
		総事業費	1, 864		5, 0	22	8, 2	294	
■前年度の事業分析【評価 (Check) 】									
	指標	t=+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1日1	宗 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	单位	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	成果	移住定住イベン 数	ト等における相談件	件	45	107	110	120	
	成果	移住支援金の申む)	請件数(単身世帯含	世帯	1	2	3	4	
	評価	■ 〇達成、	既ね達成した	●多少は達	成した 〇達	成できず	•	•	
達成度の		• 移住定任	Èイベントでの相	談件数は、	前年度よりも	増加して合計	45件となった	。積極的な声	
評価と説明	説明	かけや相談	炎ブースの装飾、	自治体紹介	の資料の見直	し等により、	より多くの方	々へ移住の提	
		案を図るこ	ことができた。						
見直し余地	判定	≧ ●数年内Ⅰ	こ見直し可能 (○余地はあ	るがまだ時間	が必要 〇分	戻地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性	●見直		!状どおり継続	〇廃止・					
資源方向性	予算	算額 ●拡大	:〇現状 〇縮小		業務量	●拡大()現状 〇縮小		

事務事業調書(評価)						
事務事業名	草川用	水環境保全補						F成 9年度	
担当課	総合政		策課		担当者	高	橋 岳陽		
■事業の執行計						•			
	政策	05			全な都市機能				
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好						
	基本事		みどりの憩し						
事業の目的	草川・	水と緑の散歩	道周辺生活環境 σ	D美化を維持	持するとともに	こ市民や市外の	D訪問客が同	散歩	
争未の日的	道を利用しやすい環境を作る。								
事業の概要	市が一	部景観を整備	した草川用水は角	は怒川中部:	土地改良区連合	♪が管理。そ <i>0</i>	D法面の環境	保全	
争未の似安			要する経費の30%	6を補助金。	として交付。				
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7	生度	
事業費の推移	実終	責/当初予算	実績		実	績		当初	
		総事業費	111		10)4		180	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6+	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	181	宗口你	丰四	実績	実績	計画	計画	
指標の推移	活動	作業実施日数		В	2	2	2	2	
担保の推修	心勁	TF未关心口致			۷	2	2	2	
	評価			○多少は達		成できず			
達成度の		散步道周辺	型生活環境の保全	がなされ、	市民や市外の	訪問客が同散	歩道を利用し	しやすい環境を	
評価と説明	説明	維持してい	いる。						
見直し余地	判定	2 〇数年内	こ見直し可能 (○余地はあ	るがまだ時間	が必要 ●糸	戻地なし		
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了									
資源方向性	予算	算額 ○拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●	現状 〇縮	<u>'</u>	

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)						
事務事業名	公園旅	西設長寿命化 対	策事業			事業開	始年度 令	和 5年度	
担当課	建設部	阝 都市整備護	Ę.		担当者	1	田陽司		
■事業の執行計	画【計								
	政策	05	機能的で住み	メやすい安	全な都市機能				
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好						
	基本事	業 04	みどりの憩し	\空間の形	成				
+ 414 0 T 44	公園施設の長寿命化により安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新を								
事業の目的	行って					775 1 115 0 112.1			
			係る設計業務委託	F. 丁事等					
事業の概要			M C 112 11 71 71 72 11						
■事業実施結果	【実施	(Do)							
		年度	5年度		6年	度	7年	F度	
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実績		7	前初	
		総事業費	57, 126		135,	803	14,	000	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+15.4	ボ ク 1 ケ	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分		票名称	単位	実績	実績	計画	計画	
15.1# O.14.7b			IA 14 = 5 NO	**					
指標の推移	活動	公園遊具保守点	検施設数	基	477	473	467	467	
	評価	 ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇達	成できず	,	•	
達成度の					: 平成28年度		において予定	していた公園	
評価と説明	説明		と 更新は概ね完			15 112 1 227			
11 lm C 100.51	ши	第1期計画	において最も大規	見模な改築	・更新を行う!	券山パークブリ	リッジの長寿台	市化工事につ	
見直し余地	判定	〇数年内	こ見直し可能	全地はあ	るがまだ時間	が必要 〇余	き地なし	, ,	
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性		算額 〇拡大		, - ,	業務量	○拡大 ●	現状 〇縮小		

			(評価)						
事務事業名	公園等	穿整備事業				事業開	始年度 令	`和 5年度	
担当課	建設音	『 都市整備 認	R		担当者	1 1	田陽司		
■事業の執行計	画【計	·画(Plan)】							
	政策	05	機能的で住み	かすい安	全な都市機能				
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好						
10 11 11 11	基本事	3業 04	みどりの憩し						
事業の目的			て、安全で快適に			る公園を整備す	る		
J. NC. O EL L.									
事業の概要	公園施	設新設、更新	に係る設計業務委	₹託、工事等	等				
■事業実施結果	【実施	(Do)]							
		年度	5年度		6年	- 度	7:	年度	
事業費の推移	実績	績/当初予算	実績		実績当初		当初		
		総事業費	26, 004		20,			450	
■前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	+6.	ボ ク 1 ケ	34 /T	5年度	6年度	7年度	8年度	
	区分	1百个	漂名称	単位	実績	実績	計画	計画	
15.1# O 14.75)T =1	= +- +- +-	LL to No	711	0				
指標の推移	活動	公園整備工事実	施件数	件	2	3	4	3	
	評価	」 ●達成、	既ね達成した ()多少は達	成した 〇遺	成できず		*	
達成度の			から3カ年をかけ				園整備工事が	「令和6年度を	
評価と説明	説印			· ш ш с л			<u> </u>	1-14-1/20	
11 Im C 100.51	пло-л		ピスポットとして	、また鬼怒	3川河川公園か	ら続く散策路	として公園の)魅力度が一段	
見直し余地	判定	1011 - 0 1909		, , , , , , , ,	るがまだ時間	- 100 . 100 1771 177 17	<u>こしてコロい</u> ≷地なし	12,2,2,0	
■将来方向性【改善(Action)】									
事業の方向性			現状どおり継続	〇廃止・	完了				
資源方向性			. ●現状 〇縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小		

事務事業調書(通常評	価事業 事後	評価)							
事務事業名	花と綺	の小都市推進	事業			事業開	始年度 令	和 5年度		
担当課	建設部	阝 都市整備護	R .		担当者	f 亀	田陽司			
■事業の執行計	画【計	画(Plan)】								
	政策	05	機能的で住み	ょやすい安	全な都市機能					
総合計画体系	施策	02	魅力ある良好	子な市域の	形成					
	基本事	業 04	みどりの憩し	\空間の形	成					
古米の口的	事業の日的 花と緑で彩られたまちづくりを推進することで、あらゆる世代の市民が生涯にわたり生活を									
事業の目的	楽しむ	ことができる								
車業の無再	花と緑	に関連した市	民協働事業等							
事業の概要										
■事業実施結果	【実施	(Do)								
		年度	5年度		6年	度	7年	丰度		
事業費の推移	実終	漬/当初予算	実績		実績		当初			
		総事業費	2, 169		9, 7	04	13,	13, 242		
■前年度の事業	前年度の事業分析【評価(Check)】									
	指標	tE:	票名称	単位	5年度	6年度	7年度	8年度		
	区分	1日1	宗口你	丰位	実績	実績	計画	計画		
指標の推移	活動	花育関連事業開	/ 比 米h		9	9	10	10		
日信の性的	伯刬	化月因廷尹未用	性奴	ഥ	9	9	10	10		
	活動	花育関連事業参	加老粉	人	305	368	370	370		
	1,1,2,3						370	370		
	評価)多少は達		成できず				
達成度の			削の計画的な実施	により多く	の市民が各種	講座等に参加	し、花と触れ	合う機会を設		
評価と説明	説明									
また、記念樹贈呈、地域緑化花苗配布事業の実施により、地域緑化の推進を図られた。										
見直し余地	判定		こ見直し可能 (<u>)余地はあ</u>	るがまだ時間	が必要 ● 分	≹地なし			
■将来方向性【改善(Action)】										
事業の方向性			<u> </u>	〇廃止・						
資源方向性	予算	算額 〇拡大	:●現状 ○縮小		業務量	○拡大●	現状 〇縮小	١		

事務事業調書(通常評価事業 事後評価)							
事務事業名	桜の郷づくり事業				事業開始年度 平成19年度			
担当課	建設部		5		担当者			
■事業の執行計画【計画 (Plan) 】								
総合計画体系	政策	05		で住みやすい安全な都市機能				
	施策 02		魅力ある良好な市域の形成					
	基本事業 05			桜の郷づくりの推進				
事業の目的	さくら市の資源である「桜」への意識高揚を図り、市民と行政の協働による"桜の郷づく り"を進める。							
事業の概要	市の資源である桜を活かすまちづくりのための桜植栽工事、桜並木の維持管理の実施及び桜 守とのクビアカツヤカミキリ防除作業							
■事業実施結果【実施(Do)】								
事業費の推移	年度		5年度		6年度		7年度	
	実績/当初予算 実績		実績		実績		当初	
	総事業費		145, 603		94, 404		80, 713	
■前年度の事業分析【評価(Check)】								
指標の推移	指標			単位	5年度	6年度	7年度	8年度
	区分				実績	実績	計画	計画
	活動	市が植栽した桜	の植樹数	本	25	61	54	20
	活動	キリ防除本数	のクビアカツヤカミ	本	1, 031	1, 289	1, 290	1, 290
	評価 ┃●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず							
達成度の	県道佐久山喜連川線の拡幅整備工事と併せて実施をしている、早乙女桜並木再整備工事の							
評価と説明	説明 西側工区の桜植栽・張芝工事が完了した。							
	引き続き東側工区の再整備工事を計画的に進める。							
見直し余地 判定 ○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし								
■将来方向性【改善(Action)】								
事業の方向性 ○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了								
資源方向性 予算額 ●拡大 ○現状 ○縮小 業務量 ●拡大 ○現状 ○縮小								